



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,424	△6.5	199	△28.5	212	△27.8	115	△33.8
29年3月期第3四半期	4,731	△0.8	279	10.1	294	10.4	175	14.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	13.94	—
29年3月期第3四半期	21.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	4,983	1,932	38.8	231.84
29年3月期	4,648	1,847	39.7	222.58

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,932百万円 29年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	2.50	—		
30年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	4.0	130	13.6	145	8.9	55	12.3	6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	11,660,734株	29年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,323,387株	29年3月期	3,361,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	8,317,544株	29年3月期3Q	8,315,882株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等による企業業績の改善、良好な雇用状況が下支えとなり、緩やかな回復基調が継続しました。一方では、欧米などの世界情勢の不安定化により、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、ボトルのリターナブルによるTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式において営業エリア拡大と顧客数の増加などにより事業拡大に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,424百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は199百万円(前年同期比28.5%減)、経常利益は212百万円(前年同期比27.8%減)、また四半期純利益は115百万円(前年同期比33.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、前期導入した新小売システムにより、今後の更なる顧客サービスの追及と営業効率の改善が行えるようになりました。また、シニア社員の登用や、女性社員を積極的に採用し、お客様の多様なニーズに対応できるよう営業職層の拡大と労働環境の整備に努めて参りました。売上高につきましては、家庭医薬品等販売事業の小売部門において、季節商品の遠赤寝具やギフトなどの販売に注力しましたが、新規顧客への販売が伸びず、減収となりました。

卸売部門においては、新たにフランチャイズ契約を締結した(株)仙台中京医薬品への卸売販売が増加しております。また、除菌消臭関連商品「クイックシールド エアーマスク」「クイックシールド ポケット」が大手量販店やドラッグストア等で販売、出荷が始まりました。

その結果、売上高は3,938百万円(前年同期比7.2%減)、セグメント利益139百万円(前年同期比42.4%減)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は482百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益60百万円(前年同期比61.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,489百万円となり、前事業年度末に比べ385百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加265百万円、現金及び預金の増加181百万円によるものであります。固定資産は2,493百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産のその他の減少27百万円、建物及び構築物の減少24百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,983百万円となり、前事業年度末に比べ334百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,362百万円となり、前事業年度末に比べ391百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加191百万円、短期借入金の増加190百万円によるものであります。固定負債は687百万円となり、前事業年度末に比べ142百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少124百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,050百万円となり、前事業年度末に比べ248百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,932百万円となり、前事業年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加72百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.8%(前事業年度末は39.7%)、1株当たり純資産額は231.84円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成29年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	737,351	919,326
受取手形及び売掛金	416,750	682,100
商品及び製品	410,250	365,837
委託商品	372,908	370,116
仕掛品	127	105
原材料及び貯蔵品	23,659	27,394
その他	146,185	130,685
貸倒引当金	△3,554	△5,934
流動資産合計	2,103,678	2,489,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	617,102	592,452
土地	1,313,150	1,313,150
その他（純額）	82,176	64,076
有形固定資産合計	2,012,429	1,969,679
無形固定資産	167,202	139,326
投資その他の資産		
前払年金費用	75,396	81,030
その他	294,901	308,342
貸倒引当金	△4,799	△4,871
投資その他の資産合計	365,498	384,501
固定資産合計	2,545,130	2,493,506
資産合計	4,648,809	4,983,138
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,640	599,089
短期借入金	720,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	193,968	210,644
未払法人税等	64,606	43,915
賞与引当金	161,070	80,260
返品引当金	20,501	9,846
その他	403,830	509,243
流動負債合計	1,971,616	2,362,997
固定負債		
長期借入金	327,192	202,312
退職給付引当金	144,211	146,928
株式給付引当金	5,585	9,856
資産除去債務	4,601	4,639
長期未払金	232,720	232,720
その他	115,639	90,754
固定負債合計	829,950	687,211
負債合計	2,801,566	3,050,209

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,734,819	1,807,057
自己株式	△1,000,131	△989,414
株主資本合計	1,839,877	1,922,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,365	10,096
評価・換算差額等合計	7,365	10,096
純資産合計	1,847,242	1,932,929
負債純資産合計	4,648,809	4,983,138

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	4,731,938	4,424,106
売上原価	1,426,857	1,345,504
売上総利益	3,305,081	3,078,602
販売費及び一般管理費	3,025,847	2,878,913
営業利益	279,233	199,689
営業外収益		
受取利息	136	147
受取配当金	1,710	1,569
受取家賃	10,591	10,115
事故保険金	3,720	183
その他	3,354	4,160
営業外収益合計	19,512	16,176
営業外費用		
支払利息	4,054	3,373
支払手数料	46	0
為替差損	463	—
その他	0	—
営業外費用合計	4,564	3,374
経常利益	294,181	212,491
特別利益		
固定資産売却益	2,295	—
特別利益合計	2,295	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	100
減損損失	1,690	—
特別損失合計	1,690	100
税引前四半期純利益	294,785	212,391
法人税、住民税及び事業税	52,373	54,574
法人税等調整額	67,260	41,876
法人税等合計	119,634	96,451
四半期純利益	175,151	115,939

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,678,345	564,975	485,697	4,729,018	2,919	4,731,938
計	3,678,345	564,975	485,697	4,729,018	2,919	4,731,938
セグメント利益	198,662	43,213	37,358	279,233	—	279,233

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「売水事業部門」セグメントにおいて、減損損失684千円、「その他」において減損損失1,006千円を計上しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,469,042	469,538	482,413	4,420,994	3,112	4,424,106
計	3,469,042	469,538	482,413	4,420,994	3,112	4,424,106
セグメント利益	109,609	29,591	60,489	199,689	—	199,689

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。